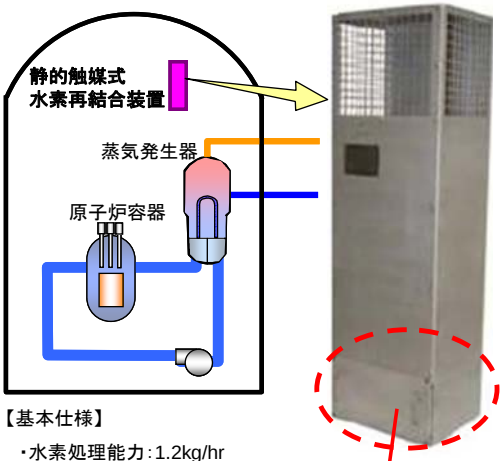
図－５　原子炉格納容器水素処理装置設置工事

工事概要

シビアアクシデント対応として、原子炉格納容器内で発生する水素の濃度を低減させるために静的触媒式水素再結合装置（５台）を、平成２５年５月に原子炉格納容器内の通路エリアに設置した。

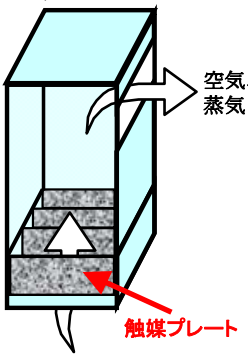
今回の定期検査期間中に、今後の長期的な保守性（定検作業中の通路確保等）を考慮し、当該装置の設置位置を変更する。

工事概要図



（外観）

（ガスの流れ）



【基本仕様】
- ・水素処理能力：1.2kg/hr
  (水素濃度4%のとき)
- ・触媒プレート：38枚／台
- ・高さ：1.4m、横幅43cm、奥行33cm
- ・重量：約50kg／台

【設置台数】 5台

（触媒プレートの収納状況）

【原理】

発生した水素が、酸素を含む蒸気とともに装置の下部から流入

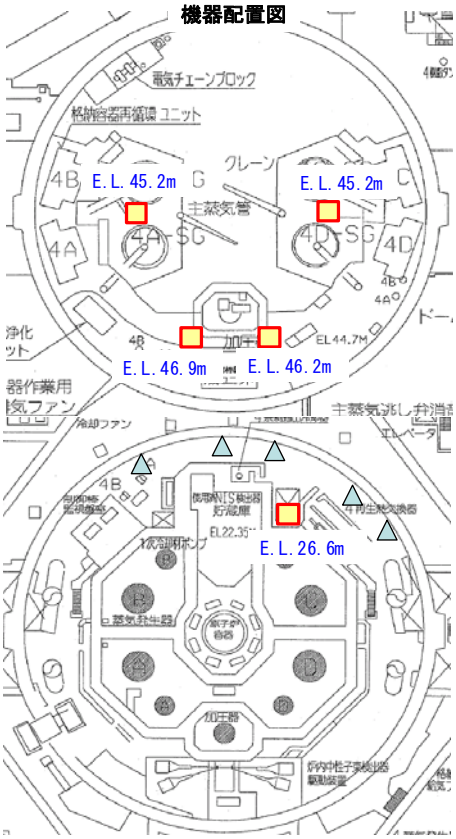
↓

触媒をコーティングした触媒プレート表面に到達した水素分子が酸素と反応することにより水素を低減

↓

反応熱により装置内部に上昇流が発生、上部から蒸気が出て行く。

機器配置図



□：変更設置位置

△：先行設置位置（E.L.26.5m）